

T14SG/FX-22 ソフトウェアアップデート方法

T14SG/FX-22 は Futaba WEB サイト <http://www.futaba.co.jp/> からデータをダウンロードして最新のソフトへ変更することができます。

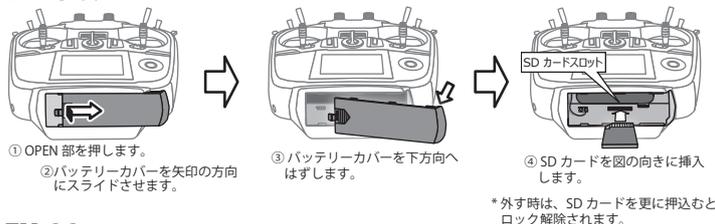
[アップデート手順]

※インターネットが使えるパソコン、SD カードリーダー、SD カードが必要です。

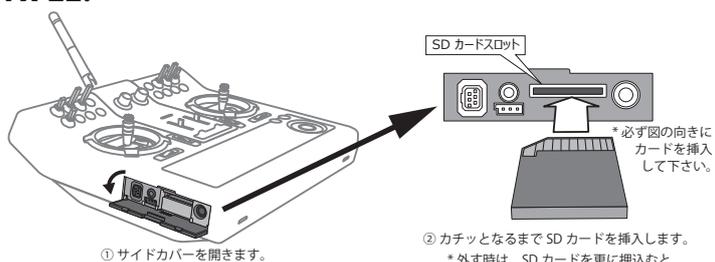
1. アップデート用 SD カードの作成

1. 市販のSD カードを T14SG/FX-22 でフォーマットします。SD カードに入っていたデータは削除されますのでご注意ください。

T14SG:



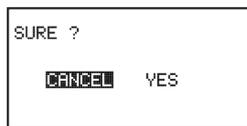
FX-22:



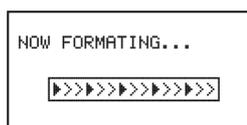
2. SD カードを上図のように挿入してから、送信機の電源を ON します。フォーマットされていない SD カードの場合右の画面がでます。タッチセンサーをスクロールして "FORMAT" を選択して "RTN" を押します。



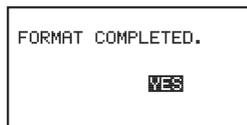
3. "YES" を選択して "RTN" を押します。



4. フォーマット中は "NOW FORMATING..." の表示がでます。そのままお待ちください。



5. フォーマットが完了すると右の画面がでます。送信機の電源を OFF して SD カードを取り出します。



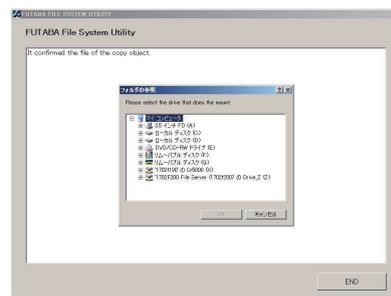
2. SD カードへアップデートデータをコピーする。

1. Futaba WEB サイトからダウンロードした T14SG (FX-22 も共通で、T14SG のアップデートデータを使用します。) のアップデートデータを展開 (圧縮ファイルを右クリックして解凍) してください。展開すると以下の 6 個のファイルが作成されます。

- T14sgUpdate.exe
- T14sgUpdate.dat
- T14SG_UPDATE.dat
- T14SG_TS.bin
- T14SG_AP.bin
- T14SG_UPLD.bin

2. さきほどフォーマットした SD カードをパソコンの SD カードリーダーに挿入します。

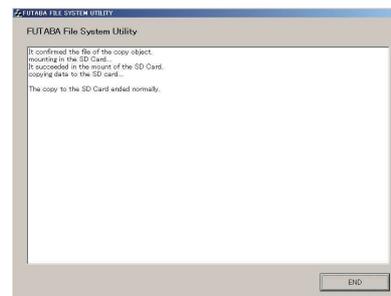
3. 1. で作成した "T14sgUpdate.exe" を実行してください。以下の画面が表示されます。



4. パソコンの「フォルダの参照」ウィンドウから SD カードをセットしたドライブを選択して、パソコンの「OK」ボタンにカーソルをおきクリックしてください。



5. コピーが完了すると以下の画面が表示されます。パソコン画面の「END」ボタンにカーソルをおき、クリックして終了してください。



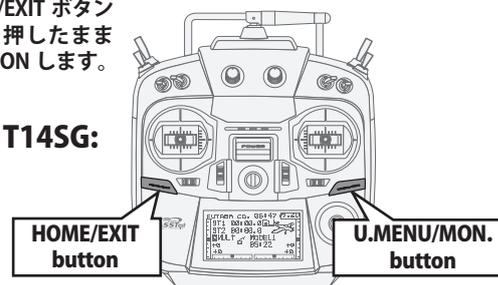
6. エクスプローラーでカードのアイコンを右クリックして「取り出し」を選択し、SD カードを取り出せる状態にしてから SD カードをカードリーダーから取り出してください。

3. T14SG/FX-22 をアップデートする。

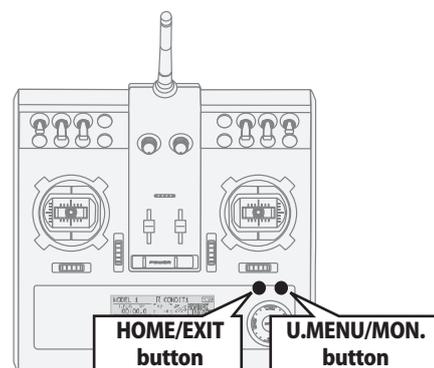
1. アップデートファイルの入っている SD カードを送信機に挿入します。

2. 送信機の HOME/EXIT ボタンを先に押して、押したまま電源スイッチを ON します。

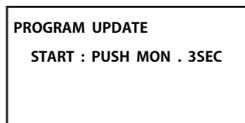
T14SG:



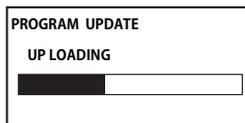
FX-22:



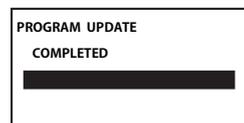
3. 数秒後に右の画面がでます。



4. U.MENU/MON. を 3 秒間押し続けるとアップデートがはじまります。しばらくお待ちください。

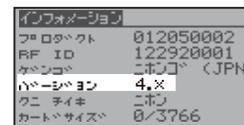
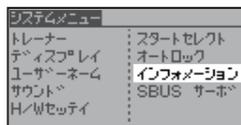


5. アップデートが完了すると "COMPLETED" がでます。送信機の電源を OFF します。



6. SD カードをとりだします。

7. 再度送信機を ON して、システムメニューのインフォメーションでバージョンが 4.x になっているのを確認してください。



T14SG/FX-22 音声ソフトのインストール方法

T14SG/FX-22 音声ソフトは Futaba WEB サイト <http://www.futaba.co.jp/> からデータをダウンロードしてインストールすることができます。音声が必要な場合はインストールする必要があります。

- テレメトリーデータを音声で聞くためには T14SG/FX-22 に音声ソフトをインストールする必要があります。
- 本体ソフトと別に音声ソフトのインストールが必要です。音声ソフトは Futaba の WEB サイトからダウンロードします。
- 本体ソフトを V2.0 以降にアップデートしなければ音声ソフトは使用できません。
- 音声ソフトは日本語、英語があります。送信機にはどちらか 1 つしかインストールできません。
- 音声データを変更しても、送信機の表示言語は変わりません。
- 音声は送信機のイヤホンジャックに市販のφ 3.5 プラグのイヤホンを接続してください。それ以外から音声はできません。
- インターネットが使えるパソコン、SD カードリーダー、SD カードが必要です。
- 本体のソフトウェアが Ver.4.x の場合、音声ソフト Ver.1 の音声データは再生できません。本体のソフトウェアを Ver.4.x にアップデートした後、音声データは Ver.2 をインストールしてください。

[音声ソフトのインストール手順]

1. T14SG/FX-22 でフォーマットされた SD カードへ音声ソフトをコピーする。

1. お持ちのパソコンで、Futaba WEB サイトからダウンロードした T14SG/FX-22 の音声アップデートデータを展開（圧縮ファイルを右クリックして解凍）してください。展開すると以下の 6 個のファイルが作成されます。

日本語版：

- ・ T14sgInstallSoundJpn.exe
- ・ T14sgUpdate.dat
- ・ T14SG_INSTALL_SOUND.dat
- ・ T14sgSpeechJpn1.bin
- ・ T14sgSpeechJpn2.bin
- ・ T14sgSpeechJpn3.bin

英語版：

- ・ T14sgInstallSoundEng.exe
- ・ T14sgUpdate.dat
- ・ T14SG_INSTALL_SOUND.dat
- ・ T14sgSpeechEng1.bin
- ・ T14sgSpeechEng2.bin
- ・ T14sgSpeechEng3.bin

2. T14SG/FX-22 でフォーマット（前項参照）した SD カードをパソコンの SD カードリーダーに挿入します。

3. 1. で作成した “T14sgInstallSound***.exe” を実行してください。

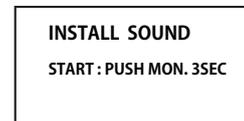
4. パソコンの「フォルダの参照」ウィンドウから SD カードをセットしたドライブを選択して、パソコンの「OK」ボタンにカーソルをおきクリックしてください。

5. コピーが完了したら、パソコン画面の「END」ボタンにカーソルをおき、クリックして終了してください。

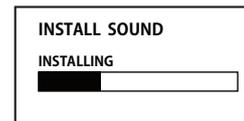
6. エクスプローラーでカードのアイコンを右クリックして「取り出し」を選択し、SD カードを取り出せる状態にしてから SD カードをカードリーダーから取り出してください。

2. T14SG/FX-22 に音声データをインストールする。

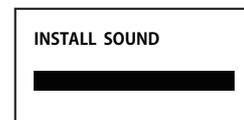
1. 音声データの入っている SD カードを T14SG/FX-22 に挿入します。
2. T14SG/FX-22 の HOME/EXIT ボタンを先に押して、押しのまま電源スイッチを ON します。
3. 数秒後に次の画面がでます。



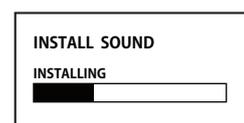
4. U.MENU/MON. を 3 秒間押し続けるとインストールがはじまります。しばらくお待ちください。



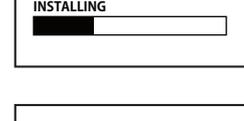
5. 約 16 秒で画面のバーが終了し、再度スタートします。そのままお待ちください。



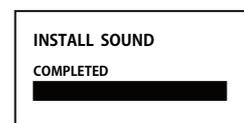
6. 今度はバーがゆっくり進みます。



7. 約 2 分ほど時間がかかります。絶対に電源を OFF しないでください。



8. 完了したら（COMPLETED の表示）SD カードをとりだします。



9. リンケージメニューのテレメトリーセッテイのオンセイが変わっているのを確認してください。



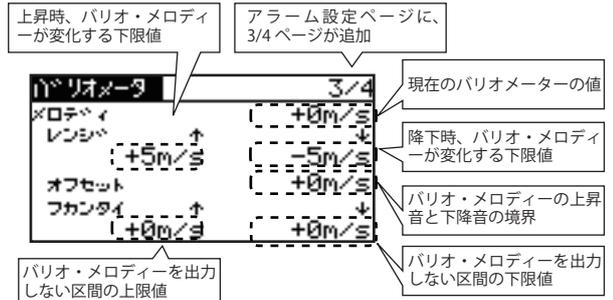
このソフトウェアアップデートにより、次の機能が追加または変更されます。本セットに付属の取扱説明書を読み替えてご使用ください。

1. 音声データ

音声データのバージョンが Ver.2 になりました。降下時のバリオメロディー音を、より連続音に聞こえるように改善しました。

* T14SG/FX-22 本体のソフトウェアが Ver.4.x の場合、Ver.1 の音声データは再生できません。T14SG/FX-22 本体のソフトウェアを Ver.4.x にアップデートした後、音声データは Ver.2 をインストールしてください。

インストールされている音声データのバージョンは、「テレメトリーセッテイ」画面で確認できます。



[バリオ・メロディーのレンジ/オフセット/ファンタイの設定イメージ]

2. サウンド(イヤホン音量)

バリオ・メロディー専用の音量設定ができるようになりました。また、バリオ・メロディーの音量を、スイッチやサイド・レバーなどでも調整できます。

■バリオメロディー

バリオ・メロディー専用の音量設定です。

設定範囲：0(消音)～30(最大)

音量調整用のハードウェアを選択できます。最小音量(消音)から上記で設定した音量までハードウェアで可変できます。

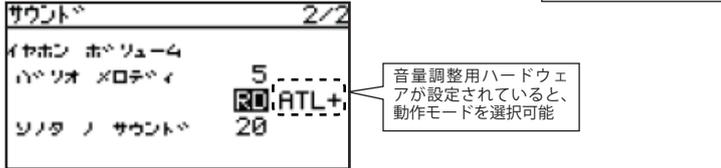
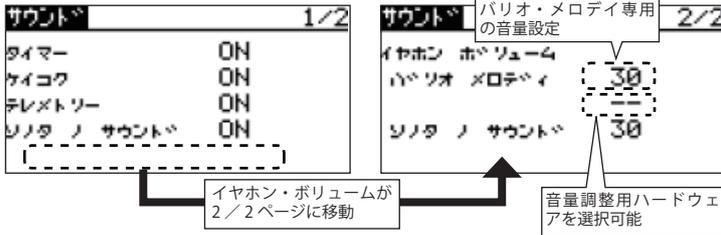
設定範囲：J1, J2, J3, J4, T1, T2, T3, T4, SA, SB, SC, SD, SE, SF, SG, SH, LS, LD, RD, RS, (SI, SJ) ※()はFX-22のみ

音量調整用ハードウェアが設定されている場合、動作モードを選択できます。

ATL+: ハードウェアの動作方向の左/上/反時計回転方向が最小音量で、反対方向が最大音量となります。

ATL-: ハードウェアの動作方向の右/下/時計回転方向が最小音量で、反対方向が最大音量となります。

SYM.: ハードウェアのセンター位置が最小音量で、両サイドが最大音量となります。



3. バリオメーター(バリオ・メロディー設定)

高度計(SBS-01A)、GPSセンサー(SBS-01G)のバリオメーター機能に、バリオ・メロディーの設定項目が追加されました。

■レンジ

バリオ・メロディーが変化するバリオメーター値の範囲を設定できます。

↑ 上昇方向の値: バリオメーター値が、この設定値より大きい場合、メロディー音は変化しません。

設定範囲: オフセットの設定値～+50m/S

↓ 下降方向の値: バリオメーター値が、この設定値より小さい場合、メロディー音は変化しません。

設定範囲: -50m/S～オフセットの設定値

■オフセット

バリオ・メロディーの上昇音と下降音の境目を設定できます。

バリオメーター値が、この設定値より大きい場合、上昇のメロディー音となります。

バリオメーター値が、この設定値より小さい場合、下降のメロディー音となります。

設定範囲: レンジの↑設定値～↓設定値

■ファンタイ

バリオ・メロディーを鳴動させない範囲を設定できます。

↑ 上昇方向の値: バリオメーター値が、この設定値より小さい場合、メロディー音は出力されません。

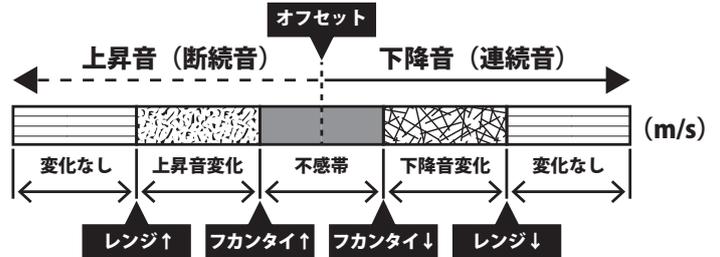
設定範囲: 0m/S～+50m/S

↓ 下降方向の値: バリオメーター値が、この設定値より大きい場合、メロディー音は出力されません。

設定範囲: -50m/S～0m/S

* これらの設定項目は、各センサー毎に設定します。センサー毎のバリオメーターのアラーム設定画面で設定します。

[バリオ・メロディー・ディレイの動作イメージ]

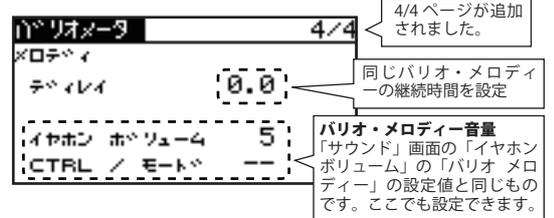


■ディレイ

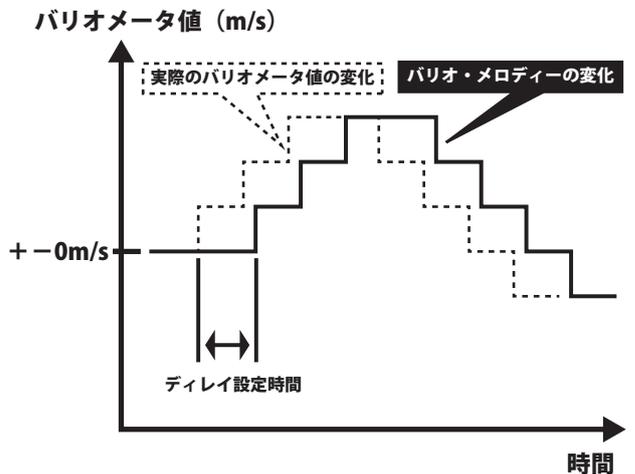
バリオメーターの値が変化しても、バリオ・メロディーはディレイ時間が経過するまで同じバリオ・メロディーが継続します。

設定範囲: 0.0秒, 0.5秒, 1.0秒, 1.5秒

* この設定項目は、すべてのバリオメーター機能で共通です。



[バリオ・メロディー・ディレイの動作イメージ]



■イヤホンボリューム

■CTRL / モード

システム・メニューの「サウンド」画面の「イヤホン ボリューム」の「バリオメロディー」の設定値と同じです。このページでも設定できます。この設定項目は、すべてのバリオメーター機能で共通です。

* 4/4 ページの設定内容は、すべてのバリオメーター機能で共通です。

4. テレメトリーセッテイ(アラーム出力継続時間と繰り返し時間)

テレメトリー・データのアラーム出力(ブザー鳴動、バイブレーション、音声出力)の繰り返し時間と1回のアラーム出力の継続時間を設定できるようにしました。

■クリアエシジャン

アラーム出力の繰り返し時間です。 設定範囲: INH, 1秒～240秒

■ケイツクジカン

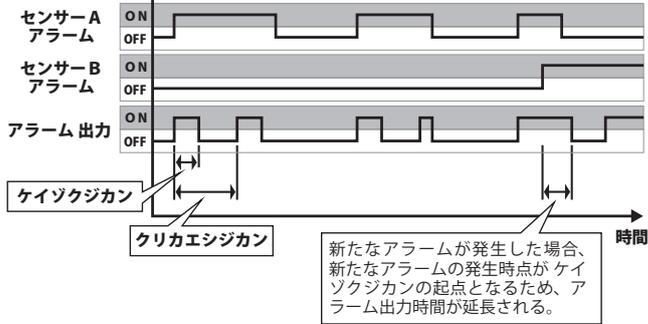
1回のアラーム出力の継続時間です。 設定範囲: 1秒～30秒

*クリカエシジカンの設定値より大きな値は設定できません。

*アラーム出力中に、新たなアラームが発生した場合、新たなアラーム発生時点が、ケイゾクジカンの起点となるため、アラーム出力時間が延長されます。



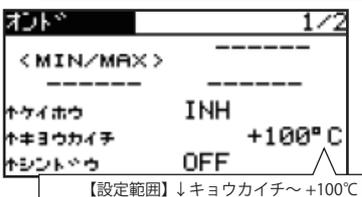
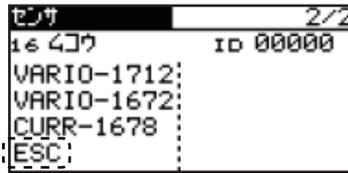
「テレメトリー・アラーム機能のクリカエシジカンとケイゾクジカンの動作イメージ」



5. センサー (センサー内蔵 ESC 対応)

Robbe 社製センサー内蔵 ESC に追加対応しました。本 ESC は、電流、電圧、電流容量、回転数、温度の各センサーを内蔵しており、それぞれのデータの表示可能です。登録には、下記の登録可能スロットから始まる連続した 5 スロットの空きスロットが必要です。

登録可能スロット：1, 2, 3, 8, 9, 10, 11, 16, 17, 18, 19, 24, 25, 26, 27
各項目のアラーム設定については、T14SG/FX-22 の取扱説明書を参照ください。



6.S.BUS サーボ

(SBD-1 CH 設定)

- S.BUS デコーダ SBD-1 の CH 設定ができるようになりました。
- S.BUS サーボの設定と同様に、三又ハブまたは二又コードでバッテリーと SBD-1 を S.BUS I/F コネクターに接続します。
- * FX-22 の場合はバッテリー接続が不要です。
- システム・メニューの [S.BUS サーボ] を選択します。
- 3/3 ページにして、[ヨミコミ] を選択し、RTN を押し、次いで RTN を 1 秒以上押し、SBD-1 の CH 設定画面に変わります。

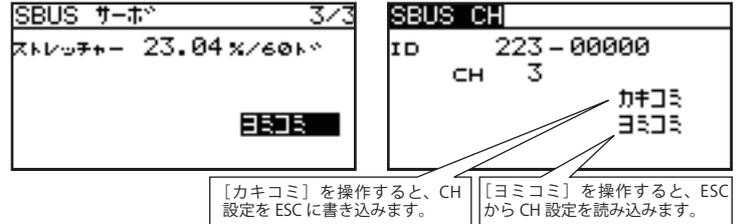


- SBD-1 の各 Sx 接続ポートに、所望の CH を設定します。
- * CH の設定範囲は、CH1 ~ CH12, DG1, DG2 です。
- [カキコミ] を選択し、RTN を 1 秒以上押しします。
- 書き込みが成功すると、「カンリョウシマシタ」のメッセージが表示されます。
- バッテリーと SBD-1 を、S.BUS I/F コネクターから取り外します。

(S.BUS CH 設定)

Robbe 社製センサー内蔵 ESC の CH 設定機能を追加しました。詳しくは、ESC の説明書をご覧ください。

- ESC を S.I/F に接続します。
- * FX-22 と接続する場合は、S.BUS 三又ハブ別電源用を使用して接続します。または、ESC の BEC のスイッチ端子にスイッチを接続して、BEC 出力を OFF します。
- ESC に電動モーター用のバッテリーを接続します。
- システム・メニューの [S.BUS サーボ] を選択します。
- 3/3 ページにして、[ヨミコミ] を選択し、RTN を押し、次いで RTN を 1 秒以上押し、S.BUS CH 設定画面に変わります。

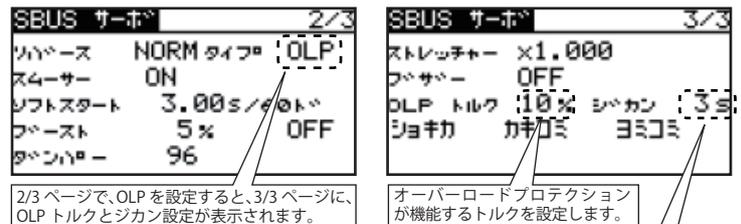


- 所望の CH を設定します。
- * スロットル または モーターファンクションが設定されている CH を設定します。
- * CH の設定範囲は、CH1 ~ CH12, DG1, DG2 です。(ESC は DG1,DG2 では動作しません。)
- [カキコミ] を選択し、RTN を 1 秒以上押しします。
- 書き込みが成功すると、「カンリョウシマシタ」のメッセージが表示されます。
- バッテリーと ESC を、S.BUS I/F コネクターから取り外します。

7.S.BUS サーボ (OLP 設定)

S.BUS サーボに、OLP (オーバーロードプロテクション) モードが設定されているとき、オーバーロードプロテクションが機能するトルクと時間を設定できるようにしました。設定されたトルク以上の負荷が、設定された時間以上継続した場合、オーバープロテクション機能により、サーボ出力がオフします。

- トルク**
オーバーロードプロテクションが機能するトルクを設定します。
設定範囲：10% ~ 100% (100% は、そのサーボの最大無負荷トルクに相当します。)
- ジカン**
オーバーロードプロテクションが機能する時間を設定します。
設定範囲：0.2 秒, 0.5 秒, 1 秒, 2 秒, 3 秒, 4 秒, 5 秒, 6 秒, 7 秒, 8 秒, 9 秒, 10 秒, 15 秒, 20 秒, 25 秒, 30 秒



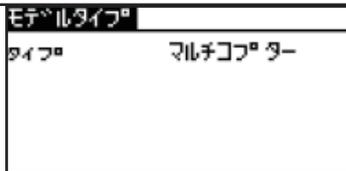
- 2/3 ページで、OLP を設定すると、3/3 ページに、OLP トルクとジカン設定が表示されます。
- オーバーロードプロテクションが機能する時間を設定します。

* OLP トルクを小さく、時間を短く設定することでオーバープロテクションにより入り易くなります。通常動作でオーバープロテクションにならないように、設定してください。

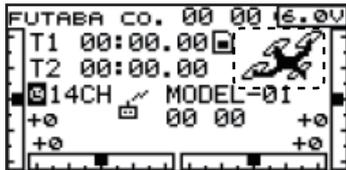
* S31715B・S90715B・S90725B・S90745B・S90755B は、ノーマルモード及びリトラクトモードのみ対応しています

8. モデル・タイプ

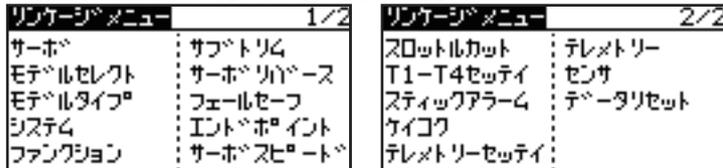
モデル・タイプに、「マルチコプター」を追加しました。



■モデル・タイプが「マルチコプター」のとき、ホーム画面に専用のアイコンが表示されます。



■モデル・タイプが「マルチコプター」のとき、リンケージ・メニューは以下の通りです。それぞれのメニュー項目については、T14SG/FX-22 本体の取扱説明書、従来のアップデート内容の折り込みを参照ください。

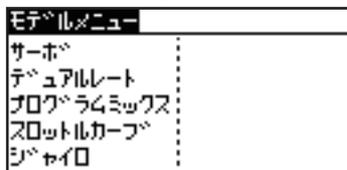


* 「スティックアラーム」は、本バージョンで追加された機能です。

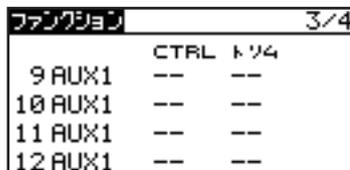
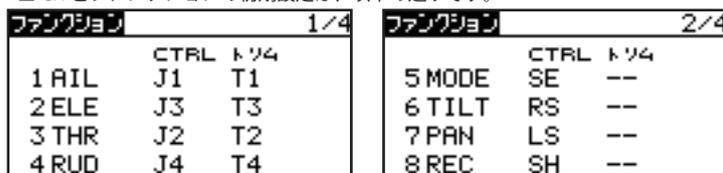
■モデル・タイプが「マルチコプター」のとき、モデル・メニューは以下の通りです。それぞれのメニュー項目については、T14SG/FX-22 本体の取扱説明書、従来のアップデート・の内容の折り込みを参照ください。

* 「ジャイロ」は、ヒコウキ用ジャイロと同機能です。

* 「スロットルカーブ」は、ヒコウキ用スロットルカーブと同機能です。

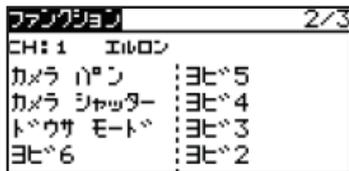
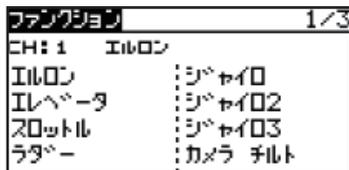


■CH とファンクションの初期設定は、以下の通りです。



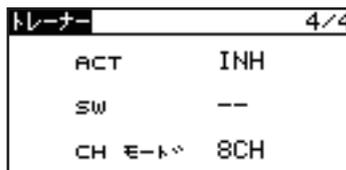
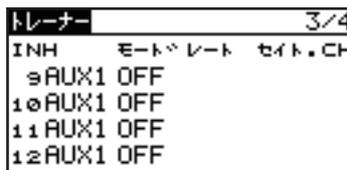
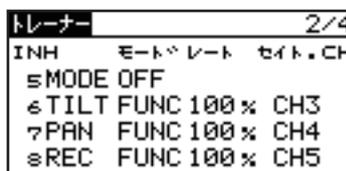
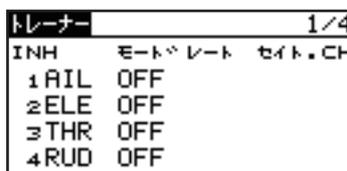
■選択できるファンクションは、以下の通りです。

ファンクション名	
通常表示	短縮表示
エルロン	AIL
エレベータ	ELE
スロットル	THR
ラダー	RUD
ジャイロ	GYR
ジャイロ	GYR2
ジャイロ	GYR3
カメラチルト	TILT
カメラパン	PAN
カメラシャッター	REC
ドウサモード	MODE
ヨビ6	AUX6
ヨビ5	AUX5
ヨビ4	AUX4
ヨビ3	AUX3
ヨビ2	AUX2
ヨビ1	AUX1



* マルチコプター用に追加された「カメラチルト」「カメラパン」「カメラシャッター」「ドウサモード」の各ファンクションは、特別な機能はありません。「ヨビ1」～「ヨビ6」と同等です。カメラのジンバル操作等、「ヨビ1」等の名称では操作との関係性が判りにくかったファンクションにお使いください。

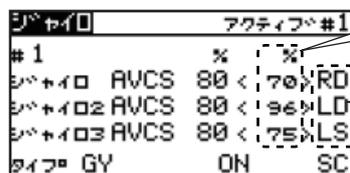
■トレーナーの初期設定が以下ようになります。トレーナーの生徒側送信機を使用してカメラ操作などができるように、トレーナー設定が容易になるようにしました。



* 生徒側送信機は、リバース、エンドポイント、その他ミキシング機能は使用しないでください。

9. ジャイロ (対応モデル・タイプ: ヒコウキ, マルチコプター)

ヒコウキ, マルチコプター用ジャイロに微調整用のハードウェアの設定を追加しました。ジャイロ・レートが100%を越えない範囲で、設定レートを中心に、ハードウェアの操作で、GY タイプのAVCS / ノーマルの場合、±20%の微調整が行えます。ノーマル・タイプ・ジャイロの場合、±10.0%の微調整が行えます。



実際のジャイロ・レートを表示します。100%を越えることはできません。

微調整用のハードウェアが設定できます。

10. スティックアラーム (対応モデル・タイプ: 全モデル・タイプ)

全モデル・タイプのリンケージ・メニューに「スティックアラーム」機能を追加しました。指定したスティックの指定したポジションでアラーム (ピッと一回) を鳴らすことができます。

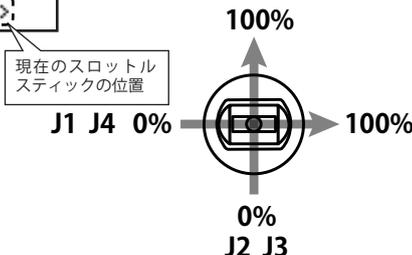
- スイッチでアラーム機能のON/OFFが設定できます。
- スティックを選択できます。
- アラームが鳴動するスティックの位置を設定できます。



ON/OFF スwitchの選択

アラームが鳴動するスティック
設定範囲: J1, J2, J3, J4
初期設定: モード1はJ2、モード2はJ3

アラームが鳴動するスティック位置
J1, J4: 左端が0%, 右端が100%
J2, J3: 下端が0%, 上端が100%



11. タイマー (ST1, ST2 音声出力)

タイマーに、イヤホン音声出力を追加しました。

■「モード」が、「アップ」または「ダウン」のとき音声出力します。

* 「モード」が「アワー」のときは、音声出力しません。

■↑モード

タイマー・スタートから1分経過毎に音声出力します。

【例】(イチフン、・・・ニフン、・・・)

アラーム時間の20秒前に、音声出力します。

【例】(ニジュウビョウ)

アラーム時間の10秒前から1秒前まで、1秒毎に音声出力します。

【例】(ジュウ、キュウ、ハチ、・・・、サン、ニ、イチ)

アラーム時間に、長いピーブ音を出力します。

■↓モード

アラーム時刻までの残り時間が1分毎に音声出力します。

【例】(ゴフン、・・・ヨンフン、・・・)

アラーム時刻までの残り時間が、50秒、40秒、30秒、20秒のとき、音声出力します。

【例】(ゴジュウビョウ)

アラーム時間の10秒前から1秒前まで、1秒毎に音声出力します。

【例】(ジュウ、キュウ、ハチ、・・・、サン、ニ、イチ)

アラーム時間に、長いピーブ音を出力します。

* 実際のタイマー値より、音声出力は遅れます。

* テレメトリー・データのロギング中は、ロギング処理が優先され、タイマーの音声出力が大きく遅れることがあります。

* テレメトリーの音声出力中は、テレメトリーの音声出力を途中で停止し、タイマーの音声を優先して出力します。

* 通常は、タイマー2よりタイマー1を優先して、音声出力します。

* 10秒前からのカウント・ダウンは、先にカウント・ダウンが始まったタイマーを優先します。

* カウント・ダウン中は、テレメトリーの音声は出力されません。

タイマー			
ST1	00:00.00	リセット	
モード	アップ	スタート	--
アラーム	10:00	↑ストップ	--
メモリー	OFF	リセット	--
シフト	OFF	オンセイ	INH

12. DG1, DG2 出力

R7008SB がモード C またはモード D に設定されており、FASSTest 14CH Mode で動作している場合、CH13(CH 端子)と CH14(CH6 端子)に、それぞれ、DG1, DG2 を出力するようにしました。

* R7008SB の動作モードとその設定方法は、T14SG/FX-22 本体または R7008SB の取扱説明書を参照ください。

* FASSTest 14CH モードで動作しているときのみです。FASSTest 12CH モードでは出力されません。

受信機 CH 出力モード一覧表				
出力コネクター	設定チャンネル			
	モード A 1~8CH	モード B 1~7CH	モード C 9~16CH	モード D 9~15CH
1	1	1	9	9
2	2	2	10	10
3	3	3	11	11
4	4	4	12	12
5	5	5	13	13
6	6	6	14	14
7/B	7	7	15	15
8/SB	8	S.BUS	16	S.BUS

FASSTest 14CH モード時、DG1 が出力されます。

FASSTest 14CH モード時、DG2 が出力されます。

13. テレメトリー・データ・ログ機能 (機能動作中表示アイコン)

テレメトリー・データのログ機能が動作中、ホーム画面とテレメトリー・モニター画面に、動作中であることを示すアイコンが表示されます。

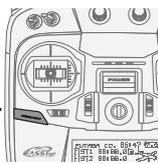


14. テレメトリー・モニター画面 (登録表示数の拡張)

テレメトリー・モニター画面に表示可能なテレメトリー・データの数を、16 表示 (4 ページ) に拡張しました。他の画面に切り替わる前のページを自動的に記憶し、次にテレメトリー・モニター画面を開いたときは、前回表示したページを表示します。

* 電源を OFF しても、モデルを切り替えても、最後に表示したテレメトリー・モニター画面のページを記憶しています。

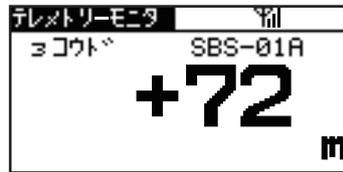
ホーム画面から HOME/EXIT ボタンを押す。



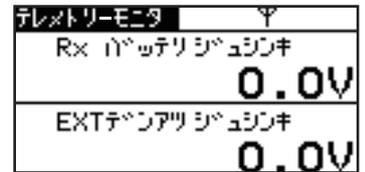
テレメトリーモニター画面へ

表示アイテムが少ないと文字が拡大表示されます。

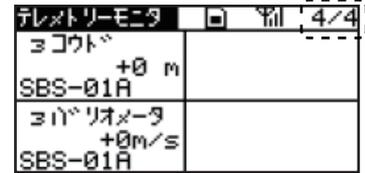
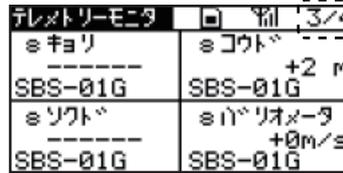
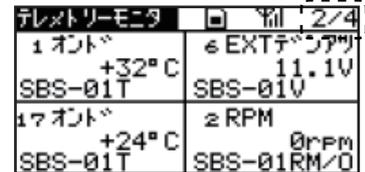
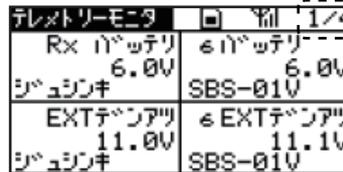
● 1 アイテム表示の例



● 2 アイテム表示の例

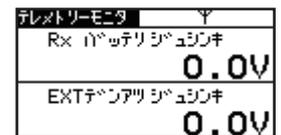


● 4~16 アイテム表示の例

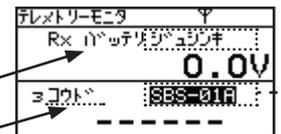


● 表示の方法

① ホーム画面から HOME/EXIT ボタンを押します。



② カーソルをセンサー名 (ジュシキ、SBS-01A など) にあわせて RTN をタッチすると表示登録画面になります。

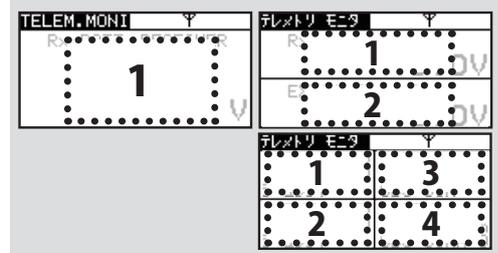


例えば "コウド" にカーソルを置きタッチするとコウドのアラーム設定画面になります。

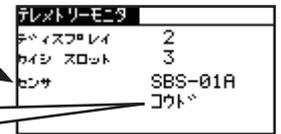
③ 表示センサーを登録する画面になります。



[ディスプレイ位置]



④ "ディスプレイ" で表示位置を選択し、"センサ" で表示させたいセンサーを選択します。



複数の表示項目をもつセンサーの場合、表示する項目を選択します。高度計ならコウド、バリオメーター。

⑤ 例えば 2 アイテム表示を 3 アイテム表示にしたい場合、ディスプレイで "3" を選択して、"センサ" で 3 に表示させたいセンサーを選択します。

⑥ 表示アイテムを減らしたい場合は、消したいセンサー (ジュシキ) の登録画面をよびだして、"センサ" で "-----" を選択して RTN を押します。

●本書の内容の一部または全部を無断で転載することはおやめください。●本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。●本書の内容は万全を期して作成していますが、万一ご不明の点や誤り、記載もれなどお気づきの点がございましたら弊社までご連絡ください。●お客様が機器を使用した結果につきましては、責任を負いかねることがございますのでご了承ください。